

アイザワ週報

第 2467 号 2021 年 12 月 27 日

審査番号・211220-B1

目次

〔今週号は 2021 年 12 月 17 日時点の情報を基に作成しています〕

投資コラム	： 最近の経済指標	1
日本株銘柄情報	： ブリッジインターナショナル(7039)	2
日本株銘柄情報	： アルファポリス(9467)	3

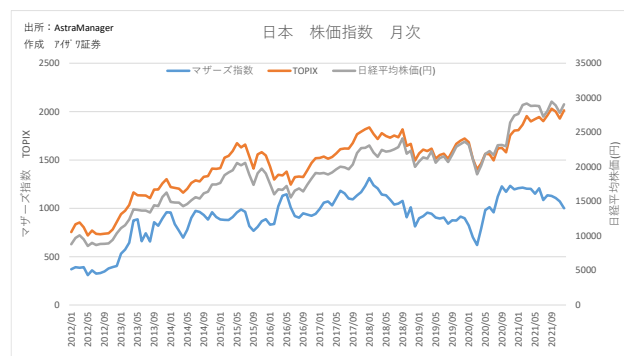
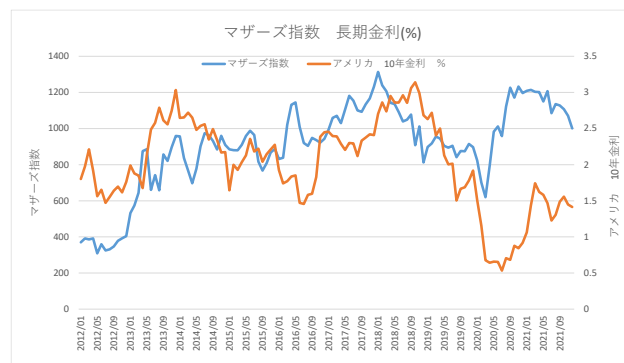
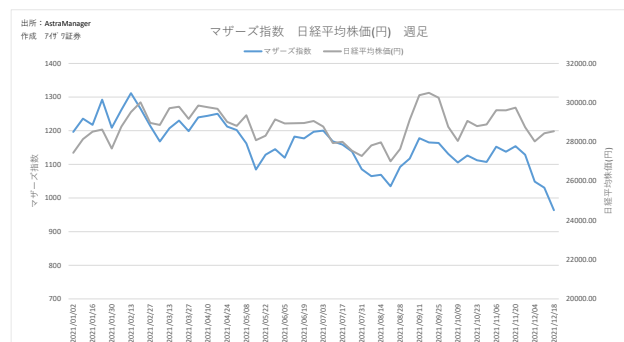
最近の経済指標

笹木 義次

マザーズ指数が下落しています。筆者が拠って
たつ景気循環論の観点からマザーズ指数を見ると以下の事柄が指摘できます。

マザーズ指数とアメリカの 10 年金利を比較すると、マザーズ指数はアメリカの 10 年金利に先行する形で連動している事が分かります。マザーズ指数＝高 PER なので、金利上昇が下落要因のように言われていますが、過去の実績推移を見るとそれと異なることが分かります。金利低下が表している景気調整によるリスクプレミアムの上昇を先取って、下落していると筆者は考えています。

マザーズ指数、TOPIX、日経平均株価を時系列で比較して見ると、2018 年から 2019 年の動きが注目です。2019 年から景気調整局面になりますが、マザーズ指数は、TOPIX や日経平均株価より先行して下落に転じているからです。先行指標であるマザーズ指数の下落は、2022 年の TOPIX や日経平均株価の動きを先取りしていると考えられる事が出来ます。



ブリッジインターナショナル (7039)

笹木 義次

株価指標

株価 (2021/12/17) 2,694.0 円
 売買単位 100株
 市場 マザーズ
 時価総額 100 億円

事業内容

ブリッジインターナショナルはインサイドセールスに関連するサービスを提供しています。インサイドセールスとは法人営業において顧客に訪問をしないで電話やメールを活用して営業活動を行う手法の事です。

特徴

ブリッジインターナショナルでは、インサイドセールスに関連する総合的なソリューションを提供できる事から、インサイドセールスの活用を考えている企業の多様なニーズに対応できる事が強みとなっています。また、先行してインサイドセールスの総合的なソリューションを提供してきた事から、豊富な実績を有している事も強みとなっています。こうした特徴から、ブリッジインターナショナルを投資対象として評価しています。

業績は比較的好調

ブリッジインターナショナルは、インサイドセールス事業と研修事業からなっています。インサイドセールス事業は、リソースを提供しているアウトソーシングサービスが中心となっています。

インサイドセールスへの需要が堅調だった事や買収した研修事業が寄与するなど、ブリッジインターナショナルの2021年12月期第3四半期累計の業績は比較的好調でした。売上高が41億70百万円と前年同期比で

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2019/12	3,262	385	386	258	74.8	0.0
2020/12	3,646	438	441	293	82.7	0.0
2021/12計	5,590	543	539	388	106.7	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

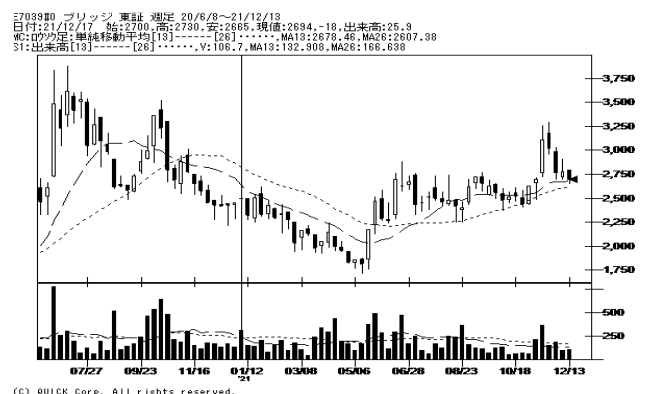
連結	
今期予想PER	25.7 倍
PBR	3.56 倍
予想配当利回り	0.00 %

56.7%の増収に、営業利益は5億19百万円と前年同期比で65.9%の増益となりました。

アウトソーシングサービスでは、インサイドセールスへの需要は堅調ですが、人的資源の制約下で品質を重視してサービス提供を行っています。研修事業は、DX推進研修が増加した事や、買収前から取り組んできた、集合型研修からオンライン研修へ転換を進めた事が奏功しました。

来期も増益予測

ブリッジインターナショナルでは、2021年12月期の業績は、売上高が55億90百万円と前年比で53.3%の増収を、営業利益は5億43百万円と前年比で23.9%の増益を計画しています。筆者はブリッジインターナショナルの2022年12月期の業績は、売上高が63億円と会社計画比で11.2%の増収を、営業利益は6億10百万円と会社計画比で12.3%の増益を予測しています。アウトソーシングサービスがインサイドセールスの堅調な需要を受けて伸長する事や、研修事業が12ヶ月分の寄与となるからです。



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

アルファポリス(9467)

笹木 義次

株価指標

株価 (2021/12/17)	3,680.0 円
売買単位	100株
市場	マザーズ
時価総額	357 億円

投資対象として評価

アルファポリスは、投稿サイトの運営と、投稿されたコンテンツを書籍化する出版事業を行っています。投稿サイトで、投稿作品数と月間ユニークユーザー数が相互に増加する好循環になっています。また、投稿されたコンテンツが書籍化や映像化されていますが、将来的には書籍や映像以外の分野でコンテンツの活用余地が広がる事が期待できます。こうしたことから、アルファポリスを投資対象として評価しています。

上半期は減益

アルファポリスの 2022 年 3 月期上半期の業績は、売上高が 44 億 99 百万円と前年同期比で 18.9%の増収に、営業利益は 9 億 53 百万円と前年同期比で 8.6%の減益となりました。費用の増加を売上高の増収効果で吸収出来ずに、営業利益は減益となりました。費用の増加は、テレビ CM を投下するなど広告宣伝を積極化させたからです。

売上高では、ライトノベルと漫画の売上高が増収となり、全体の売上高の増収に寄与しました。ライトノベルでは人気シリーズの続刊が引き続き好調でした。漫画でも人気シリーズが好調でした。また漫画では、親和性の高い電子書籍の伸長も寄与しました。さらに「月が導く異世界道中」のテレビアニメ放送の効果がありました。

投稿サイトの KPI(重要業績指標)である、投稿

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/3	5,631	1,461	1,461	880	90.9	0.0
2021/3	7,735	2,163	2,171	1,334	137.8	0.0
2022/3計	9,300	2,400	2,400	1,488	153.6	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

非連結	
今期予想PER	23.9 倍
PBR	4.46 倍
予想配当利回り	0.00 %

作品数や月間ユニークユーザーも着実に増加しました。投稿作品数は、13 万 4055 作品となり、前年同期比で 52.0%の増加となりました。月間ユニークユーザー数は 510 万 3 千人となり、前年同期比で 37.5%の増加となりました。投稿作品と月間ユニークユーザー数を見ると、相互に増加するなど増加の好循環の局面に入っていると見ています。

通期は増益計画

アルファポリスでは、2022 年 3 月期の業績は、売上高が 93 億円と前年比で 20.2%の増収を、営業利益は 24 億円と前年比で 10.9%の増益を計画しています。ライトノベルや漫画の売上高の増収効果で、通期では営業利益の増益を計画しています。

筆者はアルファポリスの 2022 年 3 月期の業績は、売上高が 96 億円と前年比で 24.1%の増収を、営業利益は 27 億 50 百万円と前年比で 27.1%の増益になる事を予測しています。書籍化のための継続的に編集機能の向上とコンテンツ調達力の向上に取り組んでいることから書籍の発行点数の増加を見込んでいるからです。

9467 株 アルファポリス 東証 1 部 20/6/8~21/12/13
日付:21/12/17 始:3850 高:3780 安:3575 現値:3680 -110 出来高:35.2
V1:07/23 移動平均[13]-----[26]-----[60]-----[120]-----[250]-----[500]-----[1000]-----[2000]-----
V2:110.5 MA10:154.889 MA20:157.815



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

**LINE公式アカウント
はじめました！**

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa